

## ● 「札幌市温暖化対策推進計画（案）」に対するパブリックコメントの実施について

札幌市では、持続可能な低炭素社会の実現に向けた温暖化対策を推進するための「札幌市温暖化対策推進計画」の案に対するパブリックコメントを実施します。

この計画は、2011年3月に策定した「札幌市温暖化対策推進ビジョン」を改定するもので、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の方針を反映し、さらに、今年10月に策定した「札幌市エネルギービジョン」との整合を図ることで、原発の稼働による温室効果ガスの削減を見込まない目標を掲げたものです。

多くの方に、地球温暖化問題を自分のこととして認識し、それぞれの自主的な取り組みにつなげてもらえるよう、同計画を市民や事業者と共有するために、多くの意見が寄せられることを期待しています。

### 1 「札幌市温暖化対策推進計画（案）」の概要について（詳細別紙）

#### (1) 目的・位置付け

市民・事業者・札幌市が目指すべき将来の札幌の姿を共有し、持続可能な低炭素社会の実現に向けた温暖化対策を推進する。

この計画は、札幌市のまちづくりの指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を上位計画として、同ビジョンにて掲げる「低炭素社会と脱原発依存社会を目指した持続可能なまちづくりを進め、世界に誇れる環境首都を実現する」という方針を反映するとともに、札幌市のエネルギー政策の方向性を示す「札幌市エネルギービジョン」との整合を図ったもの。

#### (2) 計画期間

2015 年～2030 年の 16 年間

#### (3) 目指すべき将来の札幌の姿

「世界に誇れる持続可能な低炭素社会『環境首都・札幌』」

#### (4) 温室効果ガス削減目標

##### ① 長期目標：2050 年に 1990 年比 80%削減

低炭素社会が実現された 1 つの姿として位置付け、旧計画（札幌市温暖化対策推進ビジョン）と同じ目標とした。

##### ② 中期目標：2030 年に 1990 年比 25%削減（最新値 2012 年比 47%（621 万 t-CO<sub>2</sub>）削減）

目指すべき将来の姿を実現するための中間目標として位置付け、原発の稼働による温室効果ガス削減を見込まないで設定した。

#### (5) 中期目標の達成に向けた取り組み

より実効性のある温暖化対策を推進するため、二酸化炭素の排出部門に準じて目指すべき 6 つの社会像を設定し、札幌の地域特性や札幌市エネルギービジョンの施策を踏まえた効果の高い施策を展開。市民・事業者・札幌市が協働により推進する「わたしたちの取り組み」による削減分として約 383 万 t-CO<sub>2</sub>、電力排出係数の影響による削減分として約 238 万 t-CO<sub>2</sub>の削減を目指す。

中期目標の達成に必要な温室効果ガス削減量：621 万 t-CO <sub>2</sub>		
「わたしたちの取り組み」	《家庭》 社会像：札幌型スマートライフスタイルが定着している社会 約 202 万 t-CO <sub>2</sub> 施策：高断熱・高気密住宅の普及、省エネ・再エネ機器の普及、省エネ行動の実践	約 383 万 t-CO <sub>2</sub>
	《産業・業務》 社会像：環境保全と経済成長が両立している社会 約 95 万 t-CO <sub>2</sub> 施策：省エネ・再エネ設備の普及、省エネ行動の実践、環境産業の振興と人材育成	
	《運輸》 社会像：環境に優しい交通体系が確立している社会 約 74 万 t-CO <sub>2</sub> 施策：次世代自動車の導入、エコドライブの推進、公共交通の利用促進	
	《みどり》 社会像：豊かなみどりと共生している社会 約 10 万 t-CO <sub>2</sub> 施策：みどりの保全、みどりの創出、みどりの活用	
	《廃棄物》 社会像：ごみの少ない資源循環型社会 約 2 万 t-CO <sub>2</sub> 施策：ごみの減量・リサイクル促進、廃棄物発電・熱利用の推進	
	《エネルギー》 社会像：エネルギーの創出と面的利用が進んでいる社会（約 66 万 t-CO <sub>2</sub> ※） 施策：再エネ機器の普及・拡大、分散電源の普及・拡大、エネルギーネットワークの強化	
《電力排出係数の影響》 市内を除く道内の再エネ導入や LNG 火力発電への転換による削減効果		約 238 万 t-CO <sub>2</sub>

※ エネルギーの創出に関する取り組みを集約した削減量であり、再掲分。

#### (6) リーディングプロジェクト

中期目標達成に向けて、特に排出割合の高い「家庭」「産業・業務」「運輸」の社会像と、特に取り組みを強化するエネルギー関連の施策を集約した「エネルギー」の社会像に関する温暖化対策をより効果的に推進するため、先導的・重点的に展開する取り組みを「リーディングプロジェクト」として位置付け、積極的に取り組んでいく。

##### ① 家庭

###### ア 札幌版次世代住宅普及促進事業

札幌独自の高断熱・高気密住宅に関する基準「札幌版次世代住宅基準」の認定制度と補助制度を両輪とし、普及啓発および導入支援を行う。

###### イ 市民向け省エネ推進事業

「さっぽろ節電キャンペーン」や「家庭の消費電力見える化推進事業」などにより省エネ型ライフスタイルの定着を推進する。

##### ② 産業・業務

###### ア 札幌省エネアクションプログラム

省エネの実証実験によって培った技術を効果的に普及することを目的としたモデル事業を行い、省エネ技術者の育成を進める。

###### イ 環境・エネルギー関連産業開発支援事業

市内企業が中心となり大学などの研究機関などと連携し行う環境・エネルギー分野の技術開発・実証実験の取り組みに対し補助金での支援を進める。

##### ③ 運輸

###### ア 次世代自動車導入促進事業

次世代自動車への転換を促進するための補助制度の運用や、燃料電池自動車の普及に向けた取組拡大の検討を進める。

###### イ エコドライブ定着活動推進事業

エコドライブの講習会や効果体験会など、エコドライブの定着を推進する。

④ エネルギー

ア 太陽光発電普及推進プロジェクト

太陽光発電設備導入費用の補助や、大規模太陽光発電施設の誘致などにより、太陽光発電の導入拡大を図る。

イ エネルギーネットワークの強化

都心エネルギーネットワーク推進事業により、コージェネレーションを導入し自立分散型エネルギー供給拠点の整備などを行う。

## 2 パブリックコメントおよびキッズコメントの実施について

(1) 募集期間

2014年12月19日（金）～2015年1月22日（木）（必着）

(2) 資料の配布場所

① パブリックコメントおよびキッズコメント資料の配布場所

環境局環境都市推進部環境計画課（市役所本庁舎12階）、市政刊行物コーナー（市役所本庁舎2階）、環境プラザ（北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階）、地下歩行空間北3条交差点広場（東）、青少年科学館（厚別区厚別中央1条5丁目）

② パブリックコメント資料の配布場所

各区役所総務企画課、各まちづくりセンター、

③ キッズコメント資料の配布場所

各児童会館

※ パブリックコメント開始と同時に開設するホームページでも配布資料を公開。

一般用：<http://www.city.sapporo.jp/ondanka/newplan/>

キッズ用：<http://www.city.sapporo.jp/ondanka/newplan/kids/>

(3) 応募方法

意見用紙に必要事項を記入の上、環境計画課（〒060-8611 中央区北1条西2丁目、ファクス：218-5108、Eメール：ondanka-newplan@city.sapporo.jp）に送付または持参。ホームページからの応募も可。

問い合わせ先

環境局環境都市推進部環境計画課 高木、布目、藤本、道

電話：211-2877